

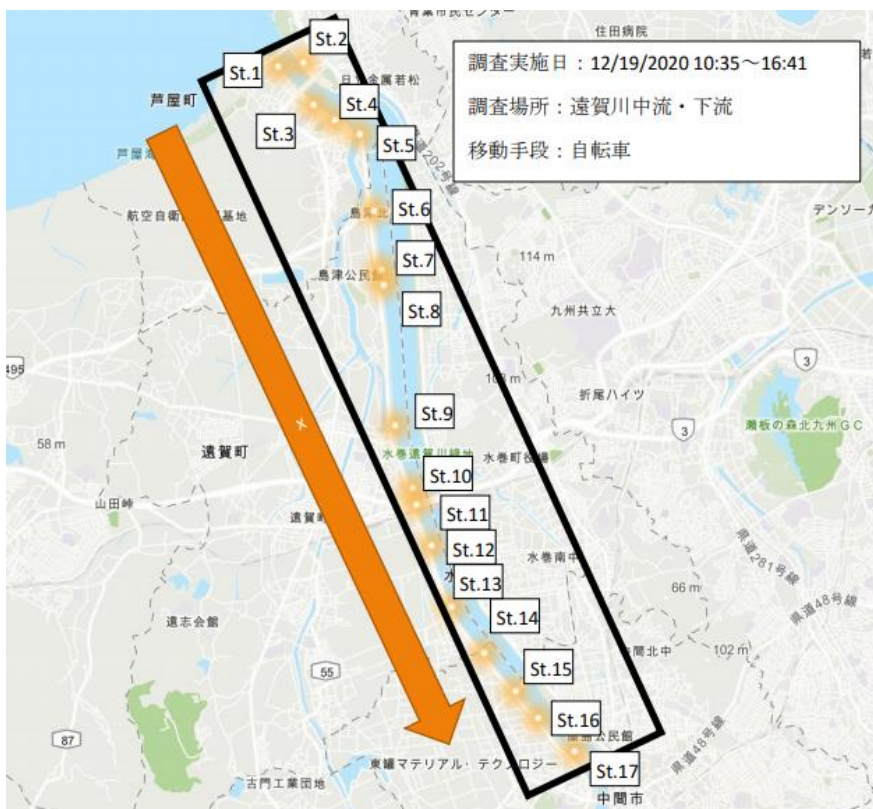
2020 年度川ゴミ調査報告書



一般社団法人 BC-ROBOP 海岸工学会

文責：宮崎幸汰

内容	活動日	場所	参加メンバー	活動内容
川ゴミ調査（紫川）	2020.12.14	紫川	2名（宮崎・森）	紫川中流に位置している小倉競馬場付近（東経 130.871 北緯 33.848）を始点、あさの汐風公園付近（東経 130.886 北緯 33.893）を終点として目視による川ゴミ調査を行った。
川ゴミ調査（遠賀川）	2020.12.19	遠賀川	2名（宮崎・森）	遠賀川中流に位置している遠賀漁業協同組合付近（東経 130.871 北緯 33.848）を始点、屋島公民館付近（東経 130.703 北緯 33.822）を終点として目視による川ゴミ調査調査を行った。
川ゴミ調査（御笠川）	2020.12.20	御笠川	2名（宮崎・森）	御笠川中流に位置している弥生公民館付近（東経 130.448 北緯 33.568）を始点、千鳥橋 JC 付近（東経 130.411 北緯 33.606）を終点として 500m 間隔で目視による川ゴミ調査を行った。
川ゴミ調査（那珂川）	2020.12.20	那珂川	2名（宮崎・森）	那珂川中流に位置している築港付近（東経 130.399 北緯 33.602）を始点、塩原小学校付近（東経 130.443 北緯 33.602）を終点として 500m 間隔で目視による川ゴミ調査を行った。
川ゴミ調査（福江川）	2021.1.3	福江川	2名（宮崎・森）	福江川河口の常灯鼻付近（東経 128.848 北緯 32.697）を始点、本山の野々切付近（東経 128.819 北緯 32.660）を終点として目視による川ゴミ調査を行った。
川ゴミ調査（室見川）	2021.1.30	室見川	2名（宮崎・森）	室見川下流に位置している姪浜中付近（東経 130.341 北緯 33.595）を始点、金武中学校付近（東経 130.323 北緯 33.528）を終点として約 500m 間隔で目視による川ゴミ調査を行った。
川ゴミ調査（松浦川）	2021.2.8		2名（宮崎・森）	松浦川河口に位置している唐津城付近（東経 129.982 北緯 33.453）を始点、中原公民分館付近（東経 129.987 北緯 33.412）を終点として目視による川ゴミ調査を行った。











紫川(2020.12.14)st.1



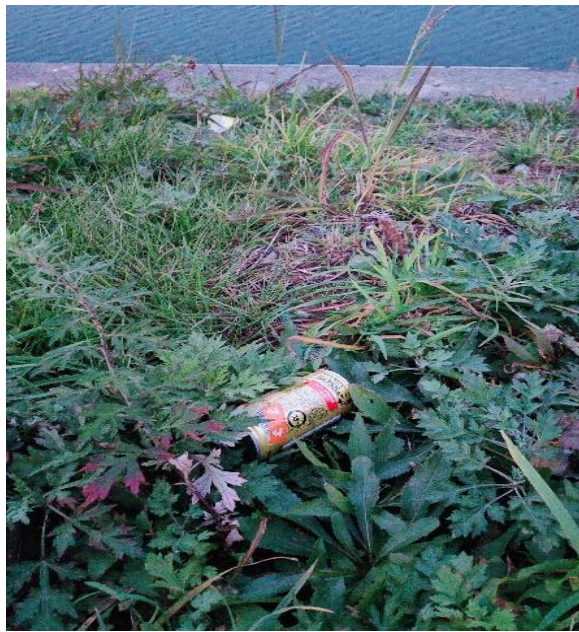
紫川(2020.12.14)st.2



遠賀川(2020.12.19) st.2



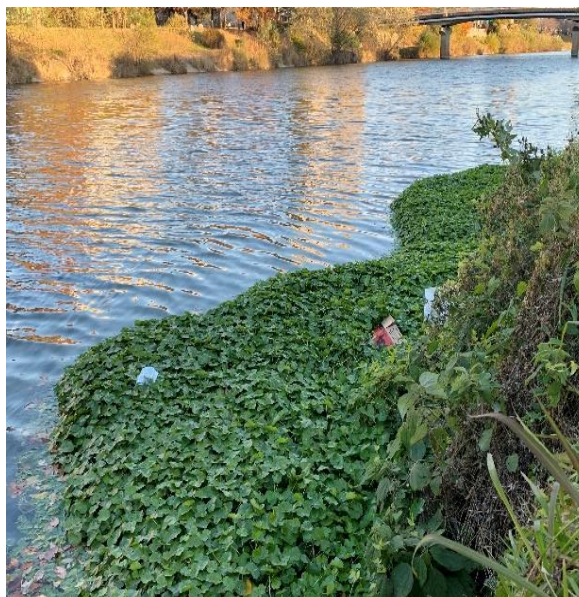
遠賀川(2020.12.19) st.6



御笠川(2020.12.20) st.4



御笠川(2020.12.20) st.8



那珂川(2020.12.20) st.4



那珂川(2020.12.20) st.10



福江川(2021.1.3) st.12



福江川(2021.1.3) st.14



室見川(2021.1.3) st.3



室見川(2021.1.3) st.9



松浦川(2021.2.8) st.4



松浦川(2021.2.8) st.11

・各川調査の感想

紫川	そこら中にコンビニで買ったと考えられる袋やおにぎりの袋が落ちており、特に橋の下がゴミが多い傾向にあった。
遠賀川	明らかにポイ捨てと思われる単独のゴミが多数あり、下流に行けば行くほどたばこのポイ捨てが多かったです
御笠川	草の間にゴミが多く入っていて、ペットボトルや発泡スチロールが大量に打ちあがっていた。
福江川	初めて自分たちの故郷の川の調査を行った。小学生の時に、川をきれいにしようとEM団子を作ってみんなで投げたことがあった。今でもその取り組みが行われているのかはわからないが、水質同様、川の景観も深刻な問題であることに改めて気づかされた。海だけでなく、定期的なリバークリーンや地域住民への啓発が必要だと感じた。
室見川	ごみの入った袋がそのまま川のそばの道路に置かれていた。これは不法投棄とも考えられる一方で、住民が清掃活動をしたまま、回収日までそこに置いていた可能性も否定はできない。どちらにせよ、ゴミは決められた場所に出されなければいけないので、そのような情報などを地域住民にもっと知らせていく必要があると感じた
松浦川	サザエのような貝殻がたくさんあった。このような場所に置かれるのは密漁の可能性も考えられる。また、大型のゴミが多く落ちており、景観を損ねていた。